



一般社団法人日本遠隔医療学会

平成30年度（第8期）定時総会 議案書

第1号議案	平成28年度(第7期)	事業報告
第2号議案	平成28年度(第7期)	決算報告
第3号議案	平成29年度(第8期)	事業計画
第4号議案	平成29年度(第8期)	予算

日時 平成30年6月23日（土）15:15～16:15
場所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-9
御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
電話：03-3251-7222 FAX：03-3251-7447

*** 6月23日時間割 ***	
13:00～13:45	編集委員会
14:00～15:00	理事会
15:15～16:15	定時総会
16:30～17:00	講演会
17:00～18:00	運営会議
18:15～20:15	懇親会

第1号議案 平成29年度(第7期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

(1) 発行実績

平成29年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第13巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第13巻1号 平成29年6月 500部

日本遠隔医療学会雑誌 第13巻2号 平成29年10月 550部(大会使用分50部含む)

日本遠隔医療学会雑誌 第13巻補刊号※ 平成30年3月 500部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTTA2017 UTSUNOMIYA B演題抄録 ②JTTA スプリングカンファレンス2017抄録

③ASEAN-Japan Healthcare ICT Forumの発表抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 森田 浩之 岐阜大学

委員 大山 太 東海大学

木ノ内 玲子 旭川医科大学

酒巻 哲夫 高崎市医師会看護専門学校

鈴木 亮二 東北大学

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

山田 桃子 NPO法人 medical-e.net

2. 第21回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2017 UTSUNOMIYA の開催

期日 平成29(2017)年9月30日(土)、10月1日(日)

会場 宇都宮市 栃木県総合文化センター

大会長 坂田 信裕 獨協医科大学情報教育部門

テーマ 新たなテクノロジーと遠隔医療の融合

プログラム概要 大会企画シンポジウム 3件、企画ワークショップ 2件、市民公開講座

一般演題 A演題16件、B演題27件

分科会発表 5分科会、ランチョンセミナー 4件、企業展示 22社

参加者数 304人(懇親会135人)

3. JTTA Spring Conference 2018 の開催

期日及び会場 平成30(2018)年2月10日(土)、11日(日) 全国家電会館(文京区)

プログラム概要 シンポジウム1件、国際企画1件3演題、分科会企画2件9演題、

一般演題9演題、情報交換会、ランチョンセミナー2件、展示1社

参加者数 107人

II 国際交流・広報活動

1. ヘルスケア IT 2017 展示会への出展

(1) 展示会概要

期日 2017年4月19日(水)～21日(金) 各10:00～17:00
会場 東京国際展示場・東京ビッグサイト 東6ホール
主催 UBM ジャパン株式会社
併催 MEDTEC Japan 2017 医療機器の設計・製造展
Electro Med Japan 2017 医療用エレクトロニクス展
Smart Health Japan 2017 医療・ICT・在宅医療機器展
Care/ Welfare Robot & Device Expo 2017 介護・福祉ロボット&機器開発展
その他医療関連展示会が併催される
予想来場者数 総計6万人
URL : <http://www.healthcarejapan.com/>

(2) 参加の概要

1) セミナーへの講師派遣

4月19日(水) 15:00～15:45 B-5『遠隔医療の多様性と未来』
「今、目の前にある遠隔医療」：酒巻 哲夫(本会名誉理事)
「ロボットという新たなインターフェイスを遠隔医療に」：坂田 信裕(本会理事)

2) 展示 4月19日(水)～21日(金) 各日とも09:00～17:00

- ・出展小間番号 B-23
- ・来場者数 3日間合計で300人以上
- ・展示物
 - A1版パネル3枚(英文) 「遠隔医療とは」、「遠隔医療学会紹介」、「遠隔医療の歴史」
学会雑誌見本
 - ・配布物(各300部用意)
遠隔医療学会紹介パンフ(A4版4ページ)、・Telemedicine in Japan 2013(英文)
TTA2017チラシ、
在宅見守り支援分科会活動紹介・「ふっくん」チラシ、
在宅生体モニタリング機器情報遠隔伝送のためのガイドライン策定分科会活動紹介
入会案内

2. JICA 研修会への対応

研修コース名：2017年度 JICA 課題別研修「妊産婦の健康改善(C)」
対象者：11カ国19名
日時：2017年10月12日(木) 9:30～10:30
研修内容：「日本における遠隔医療について」
研修場所：JICA 東京(東京国際センター)(東京都渋谷区西原2-49-5)
講師：東福寺幾夫(事務局長)

3. インドネシア・ジャカルタ Hospital Expo 展示参加

出張期日	平成 29 (2017) 年 10 月 19 日 (木) ~22 日 (日)
展示期間	平成 29 (2017) 年 10 月 19 日 (木) ~21 日 (土)
展示会場	ジャカルタ・Convention Center
内 容	総務省が確保した 6 小間の日本ブースのひとつに JTTA ブースとして出展する
展示内容	日本の遠隔医療の歴史と現状紹介パネル (インドネシア語)
出張者	東福寺幾夫事務局長

Ⅲ 政策支援

1. 厚生労働省情報通信機器を用いた診療に関するガイドライン検討委員会への委員派遣

酒巻哲夫名誉理事を「厚生労働省情報通信機器を用いた診療に関するガイドライン検討委員会」構成員として参画し、平成 30 年 3 月発表の「オンライン診療の適切な実施に関する指針」策定に貢献した。

2. 厚生労働省・遠隔医療従事者研修事業を後援

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会が厚生労働省から受託した、平成 29 年度遠隔医療従事者研修事業を後援した。

Ⅳ 学会組織の運営

1. 幹事会員の改選・役員改選・運営会議議員の選任

(1) 幹事会員選挙 幹事会員半数の任期満了に伴い、理事会決議および選挙により以下の幹事会員が選任された。

理事会指名幹事会員 3 人

小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)、坂田 信裕 (獨協医科大学)、
山田 桃子 (NPO 法人 medical-e.net) 以上、3 名

会員選挙の幹事会員 7 人

本多 正幸 (長崎大学)、近藤 博史 (鳥取大学)、岡田 宏基 (香川大学)、
廣川 博之 (旭川医科大学)、清水 周次 (九州大学)、森 一郎 (国際医療福祉大学)、
岸本 泰士郎 (慶應義塾大学)

(2) 新役員体制 6 月 24 日開催の定時総会、理事会で以下の役員体制が発足し、これを登記した。

代表理事・会長 近藤 博史 (鳥取大学)

理事・副会長 森田 浩之 (岐阜大学)

専務理事・事務局長 東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学)

常務理事 長谷川 高志 (NPO 法人日本遠隔医療協会)

理事 岡田 宏基 (香川大学)、郡 隆 (利根中央病院)、
鈴木 亮二 (東北大学)、岸本 泰士郎 (慶應義塾大学)、
坂田 信裕 (獨協医科大学)、山田 桃子 (NPO 法人 medical-e.net)

監事 吉井 宏文 (吉井宏文税理士行政書士事務所)

(3) 名誉会長・名誉理事の選任 6 月 24 日の定時総会後の理事会において、以下のごとく名誉会長・名誉理事を選任した。

名誉会長 原 量宏（香川大学）

名誉理事 酒巻 哲夫（高崎市医師会看護専門学校）、吉田晃敏（旭川医科大学）

（４）委員長の選任 6月24日の定時総会後の理事会において、以下のごとく委員長を選任した。

編集委員長 森田 浩之（岐阜大学）

普及委員長 長谷川 高志（NPO 法人日本遠隔医療協会）

国際交流委員長 樽松 八平（認定NPO 法人BHNテレコム支援協議会）

選挙管理委員長 東福寺 幾夫（高崎健康福祉大学）

2. 総会の開催

平成 29 年度定時総会は以下のごとく開催した。

期 日	平成 29 (2017) 年 6 月 24 日 (土)
会 場	御茶ノ水ホテルジュラク
議事内容	1. 平成 28 年度事業報告 2. 平成 28 年度決算報告 3. 平成 29 年度事業計画 4. 平成 29 年度予算 5. 平成 29～30 年度役員選任

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり開催した。

【平成 28 年度第 5 回理事会】(旧理事による会議)

日時	平成 29 年 6 月 24 日 (土)
場所	御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
審議事項	1. 平成 29 年度定時総会議案書の審議 2. 新入会員の承認

【平成 29 年度第 1 回理事会】(新理事による会議)

日時	平成 29 年 6 月 24 日 (土)
場所	御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
審議事項	1. 代表理事・副会長・専務理事・常務理事選任 2. 委員長選任

【平成 29 年度第 1 回理事懇談会】

日時	平成 29 年 9 月 29 日 (金) 14:00～14:30
場所	宇都宮市 栃木県総合文化センター 第 3 会議室
議題	役員登記について

【平成 29 年度第 2 回理事会】 通信による審議

審議期間	平成 30 年 1 月 23 日～26 日
審議事項	1. 米子基金特別会計規則の改定について 2. JTTA2019 学術大会準備金の支出について

【平成 29 年度第 3 回理事会】 通信による審議

審議期間	平成 30 年 2 月 27 日～3 月 1 日
審議事項	1. 日本学術会議への登録について 2. Digital Pathology Congress Asia 開催に関わる協力について

【平成 29 年度第 4 回理事会】 通信による審議

審議期間	平成 30 年 3 月 29 日～4 月 1 日
審議事項	1. 平成 29 年度新入会員の承認について 2. 平成 29 年度賛助会員入会の承認について

3. 運営会議の開催

運営会議は以下のとおり開催した。

【平成 29 年度第 1 回運営会議】

日時 平成 29 年 6 月 24 日（土） 15：00～17：20

場所 御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間

議事内容

1. 新旧長挨拶
2. 新執行体制の紹介
3. 分科会の設立・継続の審議
4. 総会報告
5. JTTA2017 準備状況報告
6. JTTA2018 準備状況報告
7. JTTA2019 準備状況報告
8. 今年度の学会雑誌発行計画について報告
9. 投稿規定の改定について報告
10. 「図説・日本の遠隔医療」改訂について報告
11. 米子基金の設立・運用について検討
12. 国際交流委員会からの報告
13. 普及委員会からの報告
14. 関連学会の動向報告
15. 今後の日程について

【平成 29 年度第 2 回運営会議】

日時 平成 29 年 9 月 29 日（金） 15：00～17：00

場所 宇都宮市・栃木県総合文化センター 第 3 会議室

議事内容

1. 会長挨拶
2. 第 1 回運営会議議事録確認
3. 前会長等への感謝状贈呈について報告
4. 役員登記について報告
5. JTTA2017 準備状況報告
6. JTTA2017 優秀論文表彰について承認
7. 学会雑誌 13 巻補遺集発行について報告
8. JTTA2018 検討状況報告
9. JTTA2019 検討状況報告
10. JTTA2020 開催地・大会長について承認
11. 国際交流委員会報告
12. 図説・日本の遠隔医療改訂作業進捗状況報告
13. 米子基金の創設と運用について報告

14. Spring Conference 2018 について報告
15. 普及委員会から報告・提案・説明
16. 歯科遠隔医療分科会設立申請報告・再審査承認
17. ヘルスケア IT 2018 出展について承認
18. 今年度の遠隔医療従事者研修事業について報告
19. 今年度の厚生労働科学研究について報告
20. AMED 研究について報告
21. 関連団体報告
22. 本会の会員・予算執行・財務状況報告
23. 今年度の運営会議開催予定確認
24. その他：長谷川普及委員長から見直しの発言があった。

【平成 29 年度第 3 回運営会議】

日時 平成 29 年 12 月 2 日(金) 13:00~16:00

場所 お茶の水ホテルジュラク 白鳥の間

議事内容

1. 会長挨拶（代理：森田浩之副会長）
2. JTTA2017 実施報告
3. Spring Conference 2018 について報告
4. JTTA2018 開催に向けて報告
5. 学術大会開催の標準的手順について報告
6. JTTA2019 について報告
7. JTTA2020 について報告
8. 編集委員会から報告
9. 国際交流委員会から報告
10. 「図説・日本の遠隔医療」、「Telemedicine in Japan」の改訂について報告
11. 今年度の遠隔医療従事者研修について報告
12. 厚労科研・遠隔医療研究班活動について報告
13. ヘルスケア IT2018 出展について報告
14. 米子基金の運用・管理用口座開設について報告
15. 役員登記について報告
16. 遠隔医療に関する制度的動向について報告
17. 2018 年度医療情報学連合大会での共同企画等について検討提案
18. AMED 研究について報告
19. 精神神経学会シンポジウムの遠隔医療学会推薦の経緯について報告
20. 連団体報告
21. 本会の会員・予算執行・財務状況報告
22. 今年度の運営会議開催予定報告

【平成 29 年度第 4 回運営会議】

場所 全国家電会館 4F 会議室

日時 平成 29 年 2 月 19 日(土) 14:00～16:00

議事内容

1. 開会挨拶
2. 4 月の診療報酬改定と遠隔医療政策の今後について報告
3. JTTA2017 会計報告と残余金の処理について承認
4. 米子基金の運用・管理について報告
5. JTTA2018 開催に向けて報告
6. JTTA2019 について報告
7. JTTA2020 について報告
8. 編集委員会から報告
9. 今年度の遠隔医療従事者研修について報告
10. 厚労科研・遠隔医療研究班活動について報告
11. ヘルスケア IT2018 出展について報告
12. 普及委員長報告
13. 本会の会員・予算執行・財務状況 報告
14. 2018 年度の行事予定報告

4. 分科会の活動

以下の、11 の分科会（カッコ内は分科会長）が活動した。（各活動報告は、学会雑誌第 13 巻 1 号参照）

- (1) e-health 研究会（長谷川高志）
- (2) 在宅医療支援分科会（太田隆正）
- (3) 遠隔医療通訳分科会（瀧澤清美）
- (4) 在宅見守り支援分科会（鈴木亮二）
- (5) 周産期医療分科会（小笠原敏浩）
- (6) 睡眠遠隔医療分科会（成井浩司）
- (7) 在宅生体モニタリング機器情報遠隔伝送のためのガイドライン策定分科会（中村昭則）
- (8) 精神科遠隔医療分科会（岸本泰士郎）
- (9) 遠隔診療モデル研究分科会（加藤浩晃）
- (10) 市民に遠隔医療をやさしく学んでもらう分科会（大木里美）
- (11) 歯科遠隔医療分科（長縄拓哉）

5. 会員の状況

- (1) 平成 30 年 3 月 31 日現在会員数

正会員	573 人（前年度末は 471 人）20 人の幹事会員を含む。
学生会員	30 人（前年度末 37 人）
購読会員	4 人（前年度末 2 人）

賛助会員 20 社（前年度末 22 社）

(2) 平成 29 度新規入会者

正会員 103 人（前年度 83 人）

学生会員 4 人（前年度 8 人）

購読会員 1 人（前年度 1 人）

賛助会員 6 社（前年度 7 社）

(3) 平成 29 年度退会者

本人意思 35 人（前年度 33 人）

会費滞納 33 人（前年度 29 人）

6. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

なお、平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで（1 年間）のお知らせ掲載数は、以下のとおりであった。

日本語ページ 28 編（前年度 29 編）

英語ページ 0 編（前年度 0 編）

以上。

第2号議案 平成29年度（第7期）決算報告

自 平成29（2017）年4月1日
至 平成30（2018）年3月31日

1. 貸借対照表

貸借対照表		平成30年3月31日現在	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	(7,195,122)	(流動負債合計)	(36,000)
普通預金	5,896,344	前受会費	36,000
定額貯金	200,000		
学会誌バックナンバー	1,079,668	負債合計合計	36,000
備品費	19,110	資本の部	
		当期正味財産増加額	717,309
資産合計合計	7,195,122	負債及び正味財産合計合計	7,195,122

2. 財産目録

財産目録		平成30年3月31日現在	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	(7,195,122)	(流動負債合計)	(36,000)
郵貯銀行 普通口座ぱるる	9,302	前受会費	36,000
郵貯銀行 振替口座	222,356		
群銀 高崎	363,971	負債合計合計	36,000
群銀 高崎栄町	190,456	資本の部	
群銀 米子資金	5,110,259	前期繰越正味財産	6,441,813
定額貯金	200,000	当期正味財産増加額	717,309
学会誌バックナンバー	1,079,668	負債及び正味財産合計合計	7,195,122
備品費	19,110		
資産合計合計	7,195,122	負債及び正味財産合計合計	7,195,122

3. 収支報告書

収 支 報 告 書

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

科 目	金 額	円
【会 費 収 入】		
幹事会員会費収入	240,000	
正会員会費収入	3,208,000	
学生会員会費収入	68,000	
購読会員会費収入	24,000	
賛助会員会費収入	640,000	
過年度会員会費収入	252,000	4,432,000
【参 加 費 収 入】		
役員研修会参加費収入	91,000	
SpringConference参加収入	1,029,000	
ランチョンセミナー参加費	250,000	
ASEAN Forum開催資金	579,055	1,949,055
【学 会 誌 事 業 収 入】		
J T T A論文掲載料	40,000	
学会誌バックナンバー販売	126,000	
その他販売収入	39,900	
著作権使用料	12,528	218,428
【そ の 他 収 入】		
受 取 利 息	238	238
【寄 付 金 収 入】		
寄 附 金 収 入	2,329,201	
学術集会余剰金返金	300,000	2,629,201
経常収入合計		(9,228,922)
【事 業 費】		
役員研修会開催費	240,300	
SpringConference開催費	1,183,032	
委員会活動費	457,099	
広報活動費	1,079,841	
会 議 費	255,709	
国際交流費	508,915	
ASEAN Forum開催費	888,727	
機関誌印刷費	1,333,773	
IS f TeH年会費	58,638	6,805,488
【管 理 費】		
事務局人件費	292,000	
事務局業務委託費	309,136	
国内旅費	203,870	
運搬通信費	238,226	
手数料	20,724	
消耗品費	144,097	
税理士報酬	324,000	
雑 費	43,972	

科	目	金	額
			円
租 税 公 課		60,100	
学 術 大 会 準 備 金		799,454	1,636,125
	経 常 支 出 合 計		(8,441,613)
	経 常 収 支 差 額		(787,309)
	そ の 他 資 金 支 出 合 計		(70,000)
期 首 補 正		30,000	
未 収 入 金 放 棄 損		40,000	
	当 期 正 味 財 産 増 加 額		(717,309)
	当 期 正 味 財 産 合 計		(7,159,122)

4. 監査報告書

監査報告書

私は、平成30年4月12日、事務局より提出された平成29年分事業報告書、貸借対照表、財産目録、収支計算書について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

平成30年4月12日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監事 吉井 衆文 

第3号議案 平成30年度(第8期)事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	14巻1号	平成30年6月発行	550部程度
日本遠隔医療学会雑誌	14巻2号	平成30年10月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	14巻補刊号	平成31年3月発行	550部程度

(2) 学術集会開催

第22回日本遠隔医療学会学術大会(JTTA2018)

大会長	清水 周次 (九州大学病院)
プログラム委員長	中島 直樹 (九州大学病院)
実行委員長	松本 大樹 (九州大学病院)
開催日	平成30年11月9日(金), 10日(土)
会場	九州大学医学部百年講堂・同窓会館(福岡市)

JTTA Spring Conference 2019

開催日	平成31年2月9日(土)、10日(日)
会場	東京都文京区 全国家電会館

(3) 学術集会開催準備

第23回日本遠隔医療学会学術大会(JTTA2019)

大会長	小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)
開催日	2019年10月5日(土)、6日(日)
会場	アイーナ・いわて県民情報交流センター

JTTA Spring Conference 2019

開催日	2020年2月8日(土)、9日(日)
会場	東京都文京区 全国家電会館

第24回日本遠隔医療学会学術大会(JTTA20120) および

25thISfTeH International Conference

大会長	郡 隆之 (利根中央病院)
開催日	2020年10月9日(金)、10日(土)
会場	Gメッセ群馬(群馬コンベンションセンター)

2. 国際交流・広報活動

- (1) 2020年25th ISfTeH International Conference 参加者招致に向けて活動する
- (2) ホームページの運用
- (3) 各方面からの問合せへの対応

3. 政策支援活動

国や地方自治体における遠隔医療の普及発展に関わる活動を、展開する。

4. 組織の運営

(1) 総会

定時総会 平成30年6月23日(土) 東京

(2) 理事会

第1回理事会 平成30年6月23日(土) 東京

第2回理事会 平成30年12月1日(土) 東京

第3回理事会 平成31年2月9日(土) 東京

(3) 運営会議

第1回運営会議 平成30年6月23日(土) 東京

第2回運営会議 平成30年11月8日(木) 宇都宮

第3回運営会議(研修会) 平成30年12月1日(土) 東京

第4回運営会議 平成31年2月10日(日) 東京

(4) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を運営、会費・掲載料の適正な収納。
- ・会員管理 正確な名簿の維持、会員サービスの適時提供。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信。英語発信力向上を目指した運用再検討。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援
- ・ISfTeH窓口
- ・その他

(5) 委員会・・・年度末に活動報告を提出する。

- ・編集委員会 学会雑誌14巻1, 2、補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2017開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援
遠隔医療実績把握の仕組み検討、AMED研究・厚労科研班への協力
- ・国際交流委員会 国際交流の支援、ISfTeH2010の広報企画
- ・選挙管理委員会 2019年度幹事会員選挙の実施準備

(6) 分科会・・・年度末に活動報告を提出する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

以上。

第4号議案 平成30年度（第8期）予算

1. 平成30年度予算編成方針

【収入の部】

(1) 会費収入

幹事会員 20 人、正会員 500 人、学生会員 10 人、購読会員 3 人
賛助会員 25 社

(2) 参加費収入

Spring Conference 120 人参加、ランチョンセミナー2日

(3) 学会誌事業

論文掲載料 10 人、バックナンバー9 万円、医中誌 1.5 万円

【支出の部】

(1) 事業費

Spring Conference110 万円、論文査読業務支援委託 50 万円、
ヘルスケア IT 展示等 33 万円、翻訳費 30 万円

(2) 学会誌事業費

学会誌印刷各号 530 冊、発送業務委託 500 冊 12.5 万円

(3) 管理費

備品費 (PC 更新 20 万円)

2. 平成30年度予算案・・・別添